

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年11月5日～11月11日)

平成 27 年(2015 年)11 月 13 日

H E A D L I N E S

## 政治

キシュチャク元内相が逝去  
 「法と正義」(PiS)、次期政権の閣僚候補を発表  
 独立記念日を迎え各地で記念行事  
 上下両院初召集、コパチ首相は辞表を提出  
 「V4+日本」外相会合の開催  
 ワルシャワ安全保障フォーラム開催  
 ドゥダ大統領、バチカンを訪問  
 ポーランド、アフリカからの違法移民対策に100万ユーロを拠出

## 経済

2015—17年の欧州委経済成長見通し  
 10月の倒産件数は55件  
 2015-17年の中央銀行経済成長見通し  
 平均賃金は3%アップ  
 ブリヂストンが新製造ラインを立ち上げ  
 ポーランドは国際入札に参加できていない？  
 ポーランドの空港利用客上昇中  
 ポーランドにおける石炭輸入構造の変化  
 石炭は最優先課題—次期エネルギー大臣候補

## 大使館からのお知らせ

領事アンケートへの御協力について  
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起  
 大使館広報文化センターの開館時間について  
 東日本大震災義捐金受付について  
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内 政

キシュチャク元内相が逝去【5日】

5日、共産主義時代の1980年代に内務相を務めたキシュチャク氏が逝去した(享年90歳)。同元内務相は、特殊機関を所管する閣僚として1981年の戒厳令布告の準備・調整を担当した。一方で、同元内務相は、1980年代後半の円卓会議実現に向けた動きにも関与した。

「法と正義」(PiS)、次期政権の閣僚候補を発表【9日】

9日、総選挙で勝利した「法と正義」(PiS)のカチンスキ党首及びシドウオ副党首(首相候補)が次期政権の閣僚候補を発表した。シドウオ次期政権では、経済省が解体され、同省の所掌事項が新設の開発省、エネルギー省及び海事経済・海運省に移管されるが、経済主要官庁となる開発省の大臣にはモラヴィエツキBZ・WBK銀行総裁が副首相を兼任する形で就任する。この他、財務大臣にはシャワマハ元国有財産副大臣、外務大臣にはヴァシチコフスキ元外務次官、国防大臣にはマチェレヴィチ元内務大臣が就任予定である。なお、新内閣は、12日の国会

初召集後14日以内に任命される予定である(その後、下院による承認が必要)。

独立記念日を迎え各地で記念行事【11日】

11日、ポーランドでは独立記念日を迎え各地で記念行事が開催された。ワルシャワ市内のピウスツキ広場で開催された独立記念式典には、ドゥダ大統領、コパチ首相等の要人が出席した。ドゥダ大統領は、式典の演説にて、自由、主権、独立した国家の重要性、ポーランドにおける良い変革の実現の必要性等に言及した。独立記念日に際しては、2011年以降、民族主義団体が主催する「独立行進」が警察との衝突等の騒ぎに発展する事態を招いてきたが、本年においては同行進は概ね平和裏に実施された。

上下両院初召集、コパチ首相は辞表を提出【12日】

12日、上下両院が初召集され、新下院議長にクフチンスキ議員(「法と正義」(PiS))、新上院議長にカルチェフスキ議長(PiS)が選出された。また同日、コパチ首相がドゥダ大統領に内閣の辞表を提出し、右辞表は受理された。

## 外 交・安全保障

「V4+日本」外相会合の開催【5日】

5日、ルクセンブルクで開催されたASEM外相会合の機会に第6回「V4(ポーランド、チェコ、ハンガリー、スロバキア)+日本」外相会合が実施され、岸田外務大臣とV4外相(ポーランドからはカツペルチク外務次官が出席)との間で、「V4+日本」協力、日・EU関係、地域・国際情勢等に関する意見交換が行われた。

ワルシャワ安全保障フォーラム開催【6日】

5-6日、ワルシャワにおいて、昨年に続き2回目のワルシャワ安全保障フォーラムが開催された。昨年同様当国国家安全保障局が戦略パートナーとなり、シェモニヤク副首相・国防相をはじめとした当国防衛省関係者、バーシュボウNATO事務次長、欧米各国の学術研究者、安全保障・外交・国際機関関係者、欧州閣僚経験者等ハイレベルの参加があった。

ドゥダ大統領、バチカンを訪問【9日】

9日、ドゥダ大統領はバチカンを訪問し、ローマ法王フランシスコを謁見した。両者は、欧州、ポーランド情勢、ウクライナ問題、難民問題、来年7月にクラクフで開催される「世界青年の日」へのローマ法王の参加等につき意見交換した。

ポーランド、アフリカからの違法移民対策に100万ユーロを拠出【11日】

11日~12日、EU・アフリカ首脳会合がマルタにて開催され、カツペルチク外務次官が出席した。同次官は、ポーランドがアフリカからの違法移民対策のためのEUの欧州信託基金に100万ユーロを拠出することを発表した。なお、12日に同地で開催された難民問題に関する非公式欧州理事会には、ポーランドは国内政治日程の関係で代表を派遣できず、チェコ首相がポーランドの立場を代弁した。

## 経 済

## マクロ経済動向・統計

2015—17年の欧州委経済成長見通し【5日】

欧州委の今秋の見通しでは2015—17年のポーランドの経済成長率は3.5%となる見込み。賃金及

び雇用の改善に低金利が加わり、家計の収入増が国内需要を押し上げるとの分析。2016年には失業率は6.8%まで下がり、インフレ率は1.4%まで上

がるとの見方をしている。

**10月の倒産件数は55件【5日】**

EULER HERMES社によれば、10月の倒産件数は55件で、9月の47件を上回るも前年10月からは大きく減少。ただし、同社によれば、Mazowsze 県や Silesia 県での倒産件数は増えており、急減傾向は長期に(2016年を通して)は続かないとの見方。

**2015-17年の中央銀行経済成長見通し【9日】**

中央銀行(NBP)は、9日に2015-17年の経済成長率3.4%の見通しを発表。NBPによれば、今

年中にはデフレから脱却する可能性もあり、インフレ率は2017年末には1.7%との見通し。賃金、雇用の改善により家計消費が増加する点について欧州委と同様の見方をしている。他方OECDは2016年の成長率を3.7%から3.4%に下方修正、中国とロシア経済の減速がポーランド経済に与える影響を示唆している。

**平均賃金は3%アップ【10日】**

中央統計局(GUS)によれば、2015年第3四半期の平均賃金は3895.30ズロチで前年同月比3%増。第2四半期からは1%増とのこと。

**ポーランド産業動向**

**ブリヂストンが新製造ラインを立ち上げ【6日】**

ブリヂストンは、トラック・バス用タイヤを製造するスタルガルド・シュチェチンスキの工場に新たなタイヤ製造ラインを立ち上げた。同ラインの建設にはおよそ1.2億ユーロを投じ、新たに170人を雇用する。

加することによりも還元されるのはその7分の1程度であるという。PISMはこの原因として、援助機関の本部の多くがポーランド国外にあることや、ポーランド企業の多くが国際入札の知見を有していないこと等を指摘している。

**ポーランドは国際入札に参加できていない？【9日】**

ポーランド国際問題研究所(PISM)のデータによると、ポーランドは毎年3.5億米ドルを援助機関に拠出しているが、ポーランド企業が建設等の形で参

**ポーランドの空港利用客上昇中【10日】**

民間航空局(ULC)によれば、2015年上半年期のポーランドの空港利用者数は1,380万人で対前年同期比14.7%増。第2四半期だけでも810万人の利用があり、やはり対前年同期比14%増とのこと。

**エネルギー・環境**

**ポーランドにおける石炭輸入構造の変化【9日】**

Eurostatの統計データによれば、2015年1-8月の石炭輸入は前年同月比30%の減少となった。これは、国内炭鉱会社が廉価での石炭販売等を行ったことによる、主にロシアからの輸入が減少したことが大きいと考えられている。しかしながら、未だにロシアがポーランドの輸入に占める割合は60%で最大の供給国であることには変わりはない。他方、米国からの輸入は57%も上昇し、第三位のポーランドへの輸出国となっている。

**0日】**

シドゥウォオ政権においてエネルギー大臣の候補と発表されているチフジェフスキ下院議員は、ポーランドのエネルギー政策において石炭が最重要課題であると強調した。同議員は、原子力についての質問に対しては、反対ではないと述べるとともに、再生可能エネルギー同様補助的なものになるだろう、との見解を示した。また、EUとの気候変動政策に関する再交渉については、別の問題であると指摘しつつ、環境にも配慮すると同時に石炭なしにはいられないことに留意しなければならないと述べた。

**石炭は最優先課題 一次期エネルギー大臣候補【1**

**大使館からのお知らせ**

**領事アンケートへの御協力について**

当館では、在留邦人の皆様から当館の領事サービスに対するご意見、ご要望等をお伺いし、領事サービスの向上・改善に取り組んで参りたいと思っております。

お忙しい中恐縮ですが、下記リンクより、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryouji\\_anketo20151106.html](http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryouji_anketo20151106.html)

**大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

### **ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起**

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

### **東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm)

## 文化行事・大使館関連行事

### **【開催中】展覧会「浮世絵との対話」【9月20日(日)～1月3日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の浮世絵展が開催中です。  
開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26  
詳細: <http://manggha.pl/exhibition/48>

### **【開催中】展覧会:「俳優, 人形, 影. 中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面, 服装, 小道具, 楽器などが展示されています。  
開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26  
詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

### **【開催中】ポーランドにおける日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】**

ヴロツワフ市にてヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵, 彫刻, 絵画に加え, 根付や屏風, 着物, 楽器, 武具, 刀剣など, 多岐に亘る日本美術品が展示されています。  
開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5  
詳細: [http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi\\_wystaw/zapowiedzi\\_wystaw.html](http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html)

### **【開催中】展示会「日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量」【10月17日(土)～12月31日(木)】**

グリヴィツェ市にて, グリヴィツェ市博物館主催による展示会『日本武士の世界: 武士の魂と芸術家の技量』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵, 彫刻, 絵画に加え, 茶道具, 武具, 刀剣など, 多岐に亘る日本美術品が展示されています。  
開催場所: シロンスク県, グリヴィツェ市, ul. Dolnych Wałów 8a  
詳細: <http://www.muzeum.gliwice.pl/>

### **【予定】第9回ワルシャワ大学日本祭: 日本の文化と宗教における動物【11月16日(月)～18日(水)】**

ワルシャワ市にて, ワルシャワ大学東洋学部日本学科主催による『第9回ワルシャワ大学日本祭: 日本の文化と宗教における動物』が開催されます。日本文化紹介及び学術発表, 各種式典が予定されています。  
開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, ワルシャワ大学図書館, ul. Dobra 56/66  
詳細: <http://japonistyka.orient.uw.edu.pl/wp-content/uploads/2015/11/program.pdf>

### **【予定】陶器展【11月17日(火)～30日(月)】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、陶芸家協会「ケラモス」による陶器展が開催されます。17日17時から展示会オープニングが開催され、ワルシャワ生け花会による生け花のコラボレーション展示も20日まで行われます。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

### **【予定】第16回キュープラムカップ【11月21日(土)】**

レグニツァ市にて、松濤館空手クラブ「トラ」主催による国際空手選手権大会『第16回キュープラムカップ』が開催されます。

開催場所：ドルヌィ・シロンスク県、レグニツァ市、ul. Wierzynskiego 1

詳細：<http://toralegnica.eu/>

### **【予定】水曜映画上映会「春との旅」【11月25日(水)17:30～】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「春との旅」が開催されます（日本語音声、英語字幕）。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

### **皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

### **【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。  
[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）